http://www.10000architects.com/?jp













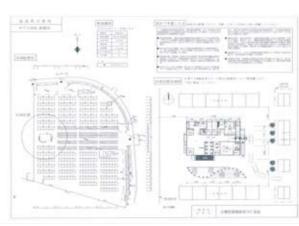
震災後の各地の様子



復興のためのまちづくり勉強会の開催



芦原会長らとの懇談会







応急仮設住宅への取り組み(JIA福島)三春町復興住宅をつくる会 福島県応急仮設住宅への公募において、100戸建設の採用を受け 5.23より順次着工、現在進行中





UIA2011 TOKYO 111Days Before 展 東京駅地下行幸ギャラリー 東北支部の震災復興支援活動のパネルを出展

## 東日本大震災を被災して

「3・11」の東日本大震災は東北に甚大な災禍をもたらしました。その直後に起こ った福島第一原発の事故は未だ収束をみていません。そのため、復興への道のりは険 しく、長期化は避けられない見通しです。

また、被災地は東北の広い地域にまたがり、地勢、海との関わりなど、被害の様相は 多様で複合的です。さらに、この震災は津波を中心とした災害であり、復興に際し土 木的なスケールの構想力が求められます。かつ、将来に向けた産業の振興と生活再建 とを併せた、過去に例をみない復興再生事業となります。

今後、それぞれの地域、独自の知恵と工夫により、復興を進めざるを得ないと予測さ れます。

したがって、ここは地域の建築家の力が試される場面です。住民参加の「まちづくり」 に積極的に参画するなど、この未曾有の災害を大きな機会と捉え、「望ましい姿」を 提示し、被災者に「希望と夢」を与えるような貢献が期待されます。

これまで、応急危険度判定、罹災度判定、建築相談など、多くの会員が被災当初から 献身的な活動に積極的に関わっていただきました。これらの活動はフィールドワーク でもあり、復興に向けた貴重な情報源にもなります。関わられた会員を中心に、それ らの知見を生かした復興再生に、大きな期待を寄せています。

そこで東北支部としては、2011年度は復興再生計画への全面的な支援を基本に、 積極的な活動を進めていきます。「新しい東北への復興」と「豊かで美しいまちづく り」に向けて、これまで培った知恵と経験を生かし、社会に向けて発言し、行動しよ うではありませんか。

会員並びに協力会員の皆と力を結集し、「新しい東北」のため共に頑張りましょう。

## 計画支援体制(1)

有識者懇談会 震災復興ビジョンに係る提言 復興推進本部 ・市長、副市長 専門部会

復興計画検討委員会 ·市民、企業、各種団体等

調査計画チーム 全体調整会議、各部会

現状調査

グランドデザイン (基本構想・基本計画) 基盤 環境 住まい 都市 州区 産業

業化計画

## 計画支援体制(2)

## 被災市町村

<大学・研究所> 東北大、学院大、 東北工大、専修大等

<都市計画コンサルタント>

オオバ、IDEC、パシコン、

アジア、パスコ等

ネットワーク型 支援チーム 総括:センター

再生機構、

立地センター等

農漁業、商工業、 金融等(県・市OB)

<事業、制度関係>

# <産業関係>

<生活環境関係> 都市計画学会、 建築家協会、環境等

## ■基本方針

①地域の歴史・文化・風土・生業を深く知る ②地域に出向いて現地を見ると同時にできるだけ多くの人に会う

①持続可能な次世代のまちづくりへのパラダイムシフトを目指す

②地域の個性を活かした住民主体のまちづくりを支援する

③自然と共生する都市・まち・建築づくりを目指す

④自然エネルギー活用・導入の推進を目指す

③様々な分野の専門家や団体と積極的に連携・協力する

### ■具体的な取り組み

今後の取り組み

■基本理念

①各地域住民主体の復興まちづくり協議会に参加する ②リアス式海岸・平野部・新興住宅地等タイプ毎の集団移転の 手法を提案、助言する(例:石巻市北上地区・雄勝名振地区)

③被災者向けの安全で快適で安価な地場産材を使用した復興

住宅を提案し、地元の大工組合等と協力し提供する ④津波被災住宅の適切な復旧改修マニュアルの作成

⑤各地域に復興まちづくり拠点を立ち上げる



